

◆八千代市DX推進方針(案)に寄せられたご意見と市の考え方

No.	ご意見の概要	ご意見に関する市の考え方
1	<p>弊社では、現在、△株式会社の○を使用して業務改善を行っています。弊社のような中小企業には、とても使いやすく導入しやすいサービスであり、多くの企業で導入が進んでいます。全国の地方自治体の中には、○を活用して、業務の効率化や行政サービスの向上をされているところが多いです。導入することで、市役所内の業務だけでなく、他の関連団体との業務効率化にもつながり、多くのメリットがあると思います。弊社が行っている業務改善の内容や導入のメリット等をお伝えできと思うので、必要であればご連絡いただければと思います。八千代市のDXが進み、業務の効率化や行政サービスが向上することを願っております。</p>	<p>貴重な御意見をいただき、ありがとうございます。今後の参考にさせていただきます。</p>
2	<p>本案拝読させて頂き、お題目には賛同致します。政府が掲げる「デジタル行政推進」方針に沿って、タイムリーにDX推進を実施することは賛成です。但し、もう少し具体的なアクション・プラン(案)を織り込み、具体的にどういったソリューションを図っていくのか、イメージが湧くようにすべきかと思えます。</p>	<p>市民のニーズ等の変化に迅速かつ柔軟に対応するため、「OODAループ」を用いた考え方を基本としてDXに係る取組について推進する一方、複数部署の業務に影響を及ぼす等、計画的に推進していく必要がある取組項目については、総合計画実施計画に位置づけて推進してまいります。</p>
3	<p>① ペーパーレス化の推進 市役所職員の机上をみるに、書類・資料・ファイル等が乱雑にまた大量に置かれ、それが職員の迅速かつ効率的な業務推進を妨げているのではないかと思います。そうしたペーパーを極力減らし、例えば「楽々ワークフロー」のようなシステム・ソリューションの仕組みを導入し、役所内の事務フローを電子化したらよいと考えます。省スペースにも資するし、引いては紙文書の保存コストの節約にもつながります。コスパを分析して、導入メリット・デメリット(Pros-Cons)を検討すれば、自ずから推進しかるべしとなると思います。</p> <p>② 電子印鑑の導入 ペーパーレス化の推進に合わせ、印鑑の現物使用を廃止ないしは制限して、電子印鑑を導入し、それを電子ワークフローや、Word/Excel/Power Point/PDFといったファイルにも使用したらよいと思います。</p>	<p>本市では現在、電子決裁機能を備えた文書管理システムの導入を検討しており、一連の内部事務手続をデジタル化することで、ペーパーレス化・事務の効率化を図ってまいります。</p>
4	<p>③ 生成AIの活用 個人情報保護等の情報セキュリティには最大の注意を払いつつ、リスクが低く、活用のメリットが大きいもの(=省力化に資するもの)から少しずつ導入してソリューションを図ったらよいと思います。地方自治体では、横須賀市が真っ先に一部導入してますし、東京都庁も小池知事の掛け声の下、都庁内マニュアル等で導入していく予定となっております。先行自治体の例も参考にしたらよいと思います。</p>	<p>生成AIには、情報漏洩や情報の信頼性に欠ける等の課題があり、その利用が重大な情報セキュリティインシデントにつながる恐れがあるため、現在、業務で利用はしていません。一方で、生成AIを巡る技術革新は、さまざまな利点をもたらすことから、今後の業務利用について調査検討を行うため、個人情報の入力制限や会話データが開発元の学習に利用されない等、セキュリティ対策が講じられた生成AIサービスの無料トライアルを実施しました。今後は、無料トライアルの実施結果を踏まえ、国の動向を注視しつつ、県とも情報共有を図りながら、業務利用の可否について、さらなる検討を進めてまいります。</p>
5	<p>④ マイナンバーカードの普及 これは一自治体だけで進められるものではありませんが、政府方針に沿い、安全安心で便利なIDカードとして様々な用途で早期に普及させるよう推進されたいと考えます。</p>	<p>国の動向等を踏まえ、引き続きカードの普及促進に努めてまいります。</p>
6	<p>No.3～5以外にも、具体案(計画)は色々ありそうですが、あれもこれもと一気に進めるのではなく、重点案件をいくつか絞って、着実に確実にしながらスピード感を持って推進されることを願います。 No.3～5のような具体的内容は、これからアクション・プランを策定する中で検討されるのかもしれませんが、方針(案)の中でも、何に重点を置いて進めていくのか、可能な限り明らかにしていくべきと考えます。</p>	<p>DXに係る取組項目については、総合計画や八千代市ICT利活用推進計画における取組項目を進めつつ、新たな取組項目については、「OODAループ」を用いた考え方を基本として抽出し推進してまいります。また、複数部署の業務に影響を及ぼす等、計画的に推進していく必要がある取組項目については、総合計画実施計画に位置づけて推進してまいります。</p>
7	<p>今回の資料はイメージの絵がついていてわかりやすかったです。作成は時間かかったかも知れませんが、市民によりよく理解してもらうには絵の参照は必要かと思えます。これは他のパブコメでも当てはまる話かと思えます。文字だけのパブコメより理解度は高まるので他のパブコメでも取り入れてください。現在マイクロソフトでPowerPointにAIを組み入れたソフトが海外では売り出されています。詳細な指示をするとAIがPowerPoint資料を数秒で作成するというもの。時代はそういう時代に来ています。今後図や絵入りのパブコメ作成はAI入りのソフトでの作成ならかなり楽に作れるでしょう。今は完成度はそう高くないですが、仕上げを人間がやれば時短にはなるでしょう。</p>	<p>生成AIには、情報漏洩や情報の信頼性に欠ける等の課題があり、その利用が重大な情報セキュリティインシデントにつながる恐れがあるため、現在、業務で利用はしていません。一方で、生成AIを巡る技術革新は、さまざまな利点をもたらすことから、今後の業務利用について調査検討を行うため、個人情報の入力制限や会話データが開発元の学習に利用されない等、セキュリティ対策が講じられた生成AIサービスの無料トライアルを実施しました。今後は、無料トライアルの実施結果を踏まえ、国の動向を注視しつつ、県とも情報共有を図りながら、業務利用の可否について、さらなる検討を進めてまいります。</p>

◆八千代市DX推進方針(案)に寄せられたご意見と市の考え方

No.	ご意見の概要	ご意見に関する市の考え方
8	<p>16Pの副市長を本部長とする全庁横断的な組織である「八千代市電子自治体推進本部」とありますが、役人のお偉いさん方は責任ばかり気にして多少の失敗がつきものの、スモールスタートは容認されにくいかもしれないので、ある程度のぎっくりとした予算を認めて、ある程度の失敗は容認するくらいの組織体制で臨むのがベストでしょう。</p> <p>あとスモールスタートですが、これは部署ごとにDX化は違うので 金太郎あめ方式にどの部署でも一律やりなさいでは浸透しないでしょう。DX化はその部署でこんなDX化、IT化があれば便利だよね。という現場の本当に必要とする声からスタートするのが一番推進力があります。自分達がやって本当に恩恵や便利さを実感できるものでないと、上から一律どの部署も押し付けられるとそのDX化がそぐわない部署では端に余計な仕事が1つ増えるだけなので。</p> <p>現場単位、チーム単位、係単位と小さい単位だがその現場ではこのDX化は便利だよね。という本当の声を拾い上げ、進めていくのがいいでしょう。小さい単位なので色々な意見や成功、失敗はありますが、ある程度の許容をしていかないとスモールスタートすらできないでしょう。ですので八千代市電子自治体推進本部は年間の予算だけぎっくりとり、よっぽどおかしなDX化案以外は失敗覚悟で認めていくくらいのゆとりのある許容のある組織体にすべきかと思えます。</p> <p>DX化はトップダウンでは失敗します。ボトムアップで進めるのがいいでしょう。その現場の人間がこれあったら絶対便利だし、効率化するよね。という事を小さい単位で進めるのが推進のコツでしょう。スモールスタートなので失敗ならすぐやめたらいいでしょう。その為のスモールスタートなのですから。スモールスタートで成功したらその事例を共有化し、うちの部署でもそれ当てはまるよ。という部署があれば水平展開していくといいでしょう。</p>	<p>市民のニーズ等の変化に迅速かつ柔軟に対応するため、「OODAループ」を用いた考え方を基本とし、方針の14ページに記載のDX推進チェックリストを踏まえ、スモールスタートを意識して推進してまいります。また、部署内の問題解決・業務改善につながる新たなDX施策については、各部署に配置する「DX推進員」とも連携のうえ推進してまいります。</p> <p>なお、複数部署の業務に影響を及ぼす等、計画的に推進していく必要があるDX施策については、総合計画実施計画に位置づけ、「PDCAサイクル」にて事業の進捗や成果等の評価を実施し、適切な見直しや改善を実施するとともに、副市長を本部長とする全庁横断的な組織である「八千代市電子自治体推進本部」において審議を行い、その結果を共有することで、DXの着実な推進を図ります。</p>
9	<p>DX化といってもそんなに特別難しい話ばかりではありません。連絡をチャットにしようとか会議をZOOMにしようとか簡単なものはわざわざ外部から専門員は必要ないでしょう。担当者を決めて、外部から来た人間に習いに行けば 水平展開はできます。DX化はじつは簡単などころから始まる場合も多いので。初めはわからなくても丁寧に寄り添い教えていけば、こんなことか、という場合も多いです。</p>	<p>本市では、既に自治体向けビジネスチャットツール及び庁内Web会議システムの導入のほか、市主催の各種協議会等において、オンライン形式での開催及びライブ配信が可能な環境を整備しておりますが、今後DXを推進するうえで、職員全体の知識向上やスキルアップは欠かせないことから、年代や職種、役職等によってDXに対する知識や親和度が異なることを踏まえ、画一的ではない多様な研修を実施してまいります。</p>
10	<p>市役所に平日行く時間がない人は多いです。特に働いている世代は。そういう人が休日でもほとんどの手続きが家でできるようにDX化頑張ってください。</p>	<p>励ましのお言葉をいただき、ありがとうございます。本方針に基づき、DXを推進してまいります。</p>
11	<p>P.6「第3部 基本方針」なのに、第1章が突然「DX推進に向けた施策の体系」となっているのは論理的でない。「方針」は「ある計画を実行する上で決める、大体の考え方ややり方のこと」という意味であり、「施策」は「ある課題に対して実行すべき具体的な計画」という意味。「ストレスフリーな市役所」では市民、「行政事務の効率化」では行政側の方針に見えるが、本来、「市民一行政一市民」、または「行政一市民一行政」等のように一体化した業務プロセスあるいはバリューチェーンとして捉えて方針を掲げるべき。「ストレスフリーな市役所」というあいまいな表現ではなく、例えば「手続き・サービスをデジタルで完結」のような明確な表現にすべき。</p>	<p>本方針における「基本方針」はDX推進に向けた市の方向性について、「施策」は方針を実現するための具体的な取組についてお示ししております。</p> <p>また、DXは、年齢や性別等に関係なく、全ての市民がデジタル化の恩恵を受けることを目的としているため、本方針は、情報量が多くなりすぎないように文字数を抑える等簡潔化を図るとともにイラストを用いてわかりやすく視覚的に表現することで、DXに詳しくない市民の方も抵抗感なくご覧いただけるよう考慮しており、このことから、「第2章 実現に向けた施策」の構成も、方針にてお示ししている通りとなっております。</p>
12	<p>P.6「スマート自治体の実現」とはどのような自治体のことか?説明がほしい。例えば、NHKのWebサイトでは、「住民・企業にとっての利便性向上(需要サイド)」、「自治体の人的・財政的負担の軽減(供給サイド)」と定義しており、そのメリットは、省力化・効率化・行財政改革・透明性・変革・行政サービスの高付加価値化と説明されている。</p>	<p>3ページの第2章「方針の位置づけ・推進期間」にてお示ししておりますとおり、本方針は、「八千代市第5次総合計画」の前期基本計画に掲げた施策「スマート自治体の推進」を遂行することを目的としており、前期基本計画では、「スマート自治体」について、「業務プロセス・システムの標準化、AI・RPA等の活用、行政手続きのオンライン化等により、効率的なサービス提供を行う自治体」と定義されております。</p>
13	<p>P.8,10,12方針から施策への取組例は論理的な帰結として提示されていないため、暗に方向付けされる可能性があるため記述すべきではない。</p>	<p>本方針では、市民のニーズ等の変化に迅速かつ柔軟に対応するため、「OODAループ」を用いた考え方を基本としていることから、取組例に示した取組の中で、効果が見込まれる取組については臨機応変に推進してまいります。複数部署の業務に影響を及ぼす等、計画的に推進していく必要がある取組項目については、総合計画実施計画に位置づけて推進してまいります。</p>
14	<p>P.9行政が事務を効率化するのは、方針1のデジタル化でバリューチェーンを完結することで効率化は達成できる。つまり、方針1に含まれる。先進的なサービスを市民や企業に提供するために、他県や他省庁、あるいは民間も含めたシステムとデータ連携を進めることを方針2としてほしい。デジタル庁が提供するデータ標準と連携基盤を利用することが重要。</p>	<p>貴重な御意見をいただき、ありがとうございます。今後の参考にさせていただきます。</p>

◆八千代市DX推進方針(案)に寄せられたご意見と市の考え方

No.	ご意見の概要	ご意見に関する市の考え方
15	P.16,17課題解決型では改善効果が限定的になるので、ToBeプロセスモデルやペルソナ分析を策定し、目標を定めるためにKPIを先に設定すべき。	市民のニーズ等の変化に迅速かつ柔軟に対応するため、「OODAループ」を用いた考え方を基本としてDXに係る取組について推進する一方、複数部署の業務に影響を及ぼす等、計画的に推進していく必要がある取組項目については、総合計画実施計画に位置づけて推進してまいります。
16	P.16,17行政組織側の課題に重点が置かれている。利用者(市民等)視点が欠落している。利用者(市民等)視点でのニーズを把握し、縦割り組織の弊害を排除したエンドツーエンドでの流れを検討対象とすべき。	DXに係る取組項目については、「OODAループ」を用いた考え方を基本として抽出のうえ、14ページにお示しておりますDX推進チェックリストを踏まえ推進するとしておりますことから、DX推進チェックリストにより市民ニーズを的確に捉えてまいります。
17	P.18旧計画の実行が中心のスケジュールとなっており、新たな取組項目の抽出や推進についての具体的で詳細な記述がない。2年半もかけて取り組み項目の抽出と推進をするのか。方針から施策へのロジカルシンキング、KPI設定、ToBeプロセスの策定によりAsIsプロセスの課題解決の検証等のスケジュールが提示できるはず。デジタル庁による「デジタル・ガバメント推進標準ガイドライン・実践ガイドブック」2022年(令和4年)4月20日が参考になる。	本方針では、市民のニーズ等の変化に迅速かつ柔軟に対応するため、「OODAループ」を用いた考え方を基本としてDXに係る取組項目を抽出のうえ推進するとしていることから、新たな取組項目を掲げておりませんが、複数部署の業務に影響を及ぼす等、計画的に推進していく必要がある取組項目については、総合計画実施計画に位置づけ、進捗や成果等の評価を実施し、適切な見直しや改善を行いながら推進してまいります。
18	<p>市民はデジタル・トランスフォーメーションの理解が不足しています。不足しているため単なるデジタル化程度で良いと思っています。そこで基本的なことを詳しく説明する必要があると考えています。最低限知らなければいけないことを次の3点に絞ってみました。</p> <p>1 DXはいつから議論されてきたか 2 そもそもDXの定義は何か 3 デジタル社会を語る上で前提となる原則は何か</p> <p>1. いつから議論されたのか ほとんどの市民はコロナの期間中に登場したと思っておりますが実際はその2年前から登場しています。平成30年(2018年)9月7日 経済産業省 DXレポート 令和2年(2020年)12月28日 経済産業省 DXレポート2 この2つのレポートでF2025年の崖」が語られ、DXに関わる現況と課題が述べられています(最新バージョンは2.2)○ DXを語る上で極めて重要と思われるので紹介すること で理解が進むと思われます。</p> <p>2. DXの定義は何か デジタルは100年に1度の改革と言われ、明治維新や産業革命に例えられています。そのためDXは産業界によって解釈がまちまちであるため定義は先行している自治体を参考にするのが望ましいと思います。全国に先駆けてデジタルファースト宣言(2019年10月)をしている浜松市の定義がコンパクトにまとまっています。「先端技術やデータを活用して、組織や仕組み等を抜本的に変革すること」2004年のエリック・ストルターマン氏の定義は改訂されております。以上を踏まえて用語集の書き換えを検討してください。 ※末尾に参考資料を添えました。</p> <p>3. デジタル社会を語る上で前提となる原則は何か ・デジタル化の基本原則 通称デジタル3原則と言う、デジタル手続き法で成文化された。① デジタルファースト 個々の手続・サービスが一貫してデジタルで完結する ② ワンスオンリー 一度提出した情報は、二度提出することを不要とする ③ コネクテッド・ワンストップ 民間サービスを含め、複数の手続・サービスをワンストップで実現する ・構造改革のためのデジタル5原則 ① デジタル完結・自動化原則 ② アジャイルガバナンス原則 ③ 官民連携原則 ④ 相互運用性確保原則 ⑤ 共通基盤利用原則</p> <p>この2つの原則は本文で説明するとともに用語集に掲載した方がいいでしょう。</p> <p>捕捉1 デジタル3原則は「デジタル・ガバメント推進方針」(2017年5月30日閣議)で提示され、「デジタル手続き法」(2019年5月31日公布)2条において基本原則として成文化されました。捕捉2 「自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画2.0版」では「デジタル化の基本原則」は単に「デジタル原則」という表現を用いて推進計画を語っています。従ってデジタル3原則は既知のこととして扱っているように感じます。捕捉3 DX推進計画2.0版では「構造改革のためのデジタル原則」について図入りで詳細な説明があります。以上とりあえず基本的なことを指摘させていただきました。現代はVUCAの時代(不確実性の時代)と呼ばれており、逐次改訂をするというアジャイルガバナンスを実践してください。現在政府では年度末に向けて「デジタルライフライン全国総合整備計画」(10年計画)を準備中です。9月には中間とりまとめが公表されました。会議の事務局は経済産業省ですが会議メンバーはデジタル田園都市国家構想事務局、デジタル庁、総務省等8省18局が招集されております。外部環境の変化は想定以上に速く可能な限りキャッチアップする体制をご検討下さい。</p>	<p>貴重な御意見をいただき、ありがとうございます。今後の参考にさせていただきます。</p>
19	<p>P5 最終行 自治体DX推進計画が改訂されました</p> <p>どのような改訂が具体的に示すことで理解が進みます。従来は総務省からの重点的に取り込むべき内容でしたが、それに加えて「デジタル社会の実現に向けた重点計画」、「デジタル田園都市国家構想基本方針」を盛り込む改訂と認識しています。</p> <p>P6 最終行 国が示す基準(ガイドライン)に基づき・・・</p> <p>具体的に一覧表にして示しましょう。より理解が深まります。おそらくデジタル3原則並びに構造改革のためのデジタル5原則と思われる。</p>	DXは、年齢や性別等に関係なく、全ての市民がデジタル化の恩恵を受けること目的としているため、本方針は、情報量が多くなりすぎないよう文字数を抑える等簡潔化を図るとともにイラストを用いてわかりやすく視覚的に表現することで、DXに詳しくない市民の方にも抵抗感なくご覧いただけるよう考慮しており、このことから、方針にてお示している通りとしております。

◆八千代市DX推進方針(案)に寄せられたご意見と市の考え方

No.	ご意見の概要	ご意見に関する市の考え方
20	<p>P7スマート自治体の実現 最終的には何が実現できるかを示すことで理解が深まります。国は豊かな暮らしすなわち「Well-being」を掲げています。このWell-beingは各省庁の基本計画においてすでにKPIが設定されておりますので準拠した方がいいと思います。デジタルは手段ですがデジタル・トランスフォーメーションも実は手段であって目的ではありません。DXの結果、実現するのは市民の豊かな暮らし、Well-beingです。</p>	<p>八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略に変わるものとして、同戦略を所管する企画経営課では、令和7年度の開始を目指し、新たな計画の策定に向けた作業を進めており、その中で、令和4年度に国が策定したデジタル田園都市国家構想総合戦略に合わせ、デジタル技術の活用を検討していることから、Well-beingについても、現行の総合計画における各指標や、市民満足度調査との兼ね合いを考慮しつつ、その指標の導入について調査研究を進めてまいります。</p>
21	<p>P16方針の推進体制 どこの自治体もDX推進にかかる人材不足が課題になっています。外部からのアドバイザーが必要と思われます。某自治体では6人のフェローを招いています。</p>	<p>専門的知見からの助言ができる外部人材の活用検討等については、今後、調査研究を進めてまいります。</p>
22	<p>P17組織横断的な課題 情報政策課は市長直下の組織にしないと横串が通せないと思います。デジタル庁は内閣総理大臣直下に置かれており、その政策は各省庁に波及する体制を取っています。</p>	<p>情報政策課につきましては、DXを推進するため、組織改正により令和5年4月から情報管理課を改称する形で新たな組織として設置しておりますが、今後につきましても、効率的な組織機構の構築を図るため、組織のあり方について検討を重ねてまいります。</p>
23	<p>P20用語解説 すでに指摘した(No.19～22)通り改正・加筆が必要です。</p>	<p>貴重な御意見をいただき、ありがとうございます。今後の参考にさせていただきます。</p>
24	<p>その他政府等の動きについて 令和3年3月の「八千代市ICT利活用推進指針」では『参考資料ICTに係る国及び県の主な動向』が掲載されておりました。この部分は市民が理解する上で極めて重要な部分ですので加筆して再掲載が望ましいと考えます。</p>	<p>DXは、年齢や性別等に関係なく、全ての市民がデジタル化の恩恵を受けること目的としているため、本方針は、情報量が多くなりすぎないよう文字数を抑える等簡潔化を図るとともにイラストを用いてわかりやすく視覚的に表現することで、DXに詳しくない市民の方にも抵抗感なくご覧いただけるよう考慮しており、このことから、「第2部 方針策定の背景」において、社会及び国の動向方針にてお示ししている通りとしております。 また、内容の見直しにつきましては、今後の社会及び国の動向の変化を踏まえ、必要に応じて、柔軟に対応してまいります。</p>
25	<p>P5の第3部基本方針に記載されている方針1「ストレスフリーな市役所」推進のための取組例、方針2「行政事務の効率化」の推進のための取組例、方針3「人に寄り添うデジタル化」推進のための取組例についての具体的な内容(項目毎)とその実施時期(予定)について現時点での状況を教えて頂きたい。</p>	<p>本方針では、市民のニーズ等の変化に迅速かつ柔軟に対応するため、「OODAループ」を用いた考え方を基本としてDXに係る取組項目を抽出していることから、総合計画に位置づけている取組の推進と併せて、新たな取組につきましても、取組例も参考に抽出のうえ推進してまいります。</p>

◆八千代市DX推進方針(案)に寄せられたご意見と市の考え方

No.	ご意見の概要	ご意見に関する市の考え方
26	<p>行政手続オンライン化の促進の令和5年度に運用開始となった26手続きのうち実施済みの内容と対象項目(26取組に対して)と実施(26取組に対して)を教えてください。上記の令和6年度以降の実施内容を令和6年と令和7年度に分けてその内容を整理して教えてください。その理由は本方針(案)は令和5年度～令和7年度が対象のためである。</p>	<p>令和5年度に運用開始としている26手続とは、自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画(令和2年12月25日総務省策定)において示された「特に国民の利便性向上に資する手続」のうち、以下の子育て及び介護関係の26手続であり、これらの手続につきましては、マイナポータルと基幹システム(行政システム)との接続が出来るよう整備を行った結果、マイナポータルからマイナンバーカードを用いたエンドトゥエンドのオンライン接続が可能となりました。</p> <p>なお、これらの手続のうち、支給認定の申請、保育施設等の利用申込、保育施設等の現況届の3手続につきましては、令和5年11月1日に運用を開始しておりますが、他の手続につきましても、令和5年度中に運用開始できるよう推進しているところです。</p> <p>また、「特に国民の利便性向上に資する手続」の対象とされていない手続(26手続以外の手続)につきましても、総合計画の計画事業に位置付け、オンライン化を推進しており、令和5年度の対象手続は38手続となりますが、令和6年度以降につきましても、更なるオンライン申請できる手続の拡充を目差し、検討を重ねてまいります。</p> <p>対象手続(26手続)  <b>【子育て関係15手続】</b>                      児童手当等の受給資格及び児童手当の額についての認定請求、児童手当等の額の改定の請求及び届出、氏名変更/住所変更等の届出、受給事由消滅の届出、未支払の児童手当等の請求、児童手当等に係る寄附の届出、児童手当に係る寄附変更等の届出、受給資格者の届出による学校給食費等の徴収等の届出、受給資格者の届出による学校給食費等の徴収等の変更等の届出、児童手当等の現況、支給認定の申請、保育施設等の利用申込、保育施設等の現況、児童扶養手当の現況届の事前送信、妊娠の届出  <b>【介護関係11手続】</b>                      要介護・要支援認定の申請、要介護・要支援更新認定の申請、要介護・要支援状況区分変更認定の申請、居宅(介護予防)サービス計画作成(変更)依頼の届出、介護保険負担割合証の再交付申請、被保険者証の再交付申請、高額介護(予防)サービス費の支給申請、介護保険負担限度額認定申請、居宅介護(介護予防)福祉用具購入費の支給申請、居宅介護(介護予防)住宅改修費の支給申請、住宅移転後の要介護・要支援認定申請</p>
27	<p>電子決済サービスの提供の令和5年度に運用開始となった具体的な内容と対象施設28カ所について対象施設名を教えてください。また、令和6年度に追加等の検討対象となっている具体的な内容を教えてください。上記について、令和6年度と令和7年度に分けて教えてください。その理由は、本方針(案)は令和5年度～令和7年度が対象のためである。</p>	<p>以下の公共施設における手数料の支払いに、PayPay及びLINEpayによるキャッシュレス決済を導入のうえ、令和5年7月から運用を開始しておりますが、令和6年度以降につきましても、更なる対象施設等の拡充を目指し、検討を重ねてまいります。</p> <p><b>【導入施設】</b>                      自転車駐車場(八千代台南、八千代台西第2、八千代台東第1、八千代台東第2、勝田台北、八千代中央第1、八千代中央第2、村上第1、大和田北第1、大和田北第2、大和田南第1)、萱田自転車保管場所、総合生涯学習プラザ、緑が丘公民館、八千代台東南公共センター、市民会館、文化センター(八千代台、勝田台)、市民ギャラリー、総合運動公園市民体育館・野球場・庭球場、勝田台中央公園小体育館、八千代台近隣公園小体育館、萱田地区公園野球場・庭球場、村上第1公園庭球場、総合グラウンド</p>
28	<p>情報システム標準化に記載されている令和5年度の契約とは、どこの設計会社(コンサルタント)との契約を表しておりますか。又、本市が導入している情報システムは標準化になっていないため、標準化をする意味ならば本市の標準システムと標準化との相違点を分かり易く記載して頂きたい。上記の令和6年度の構築とは、本市が委託した会社か自前かを教えてください。又、委託会社が情報システムを構築するならば、委託会社への発注予定金額の概算(例えば10M¥か100M¥)レベルを教えてください。</p>	<p>プロポーザル方式により標準化対応を行う事業者を選定することを想定し、令和5年度に「契約」と示しておりますが、RFI(情報提供依頼)の結果等から、プロポーザル方式による事業者選定を断念せざるを得ず、このため、令和5年度ではなく、令和6年度に、現行システムの運用管理事業者等とシステム標準化に係る委託契約を締結する予定としております。</p> <p>また、システム標準化につきましては、現行システムが、自治体ごとに作成した仕様書をもとにシステム調達を行ったものに対し、国が作成した仕様書に準拠してシステム調達を行うものとなります。</p> <p>なお、システムの標準化に係る費用につきましては、精査中につき、大変申し訳ございませんが、公表は控えさせていただきます。</p>
29	<p>資料を拝読し、昨今のデジタル化の波によって、八千代市もデジタル化推進を進めてゆくものと拝察します。私個人としては、全てデジタル化の風潮には反対です。しかし世の中の大きな流れというのが止めようもないものでもあります。八千代市においてはぜひ慎重さの上に慎重さをもって、どのようなリスクがあるかしっかりとリスクマネジメントを行った上で、本当の意味で誰も取り残される人のいない方策としてご対応を検討いただきたいと思います。市のDX推進方針につきましては、大枠としてはメリットありきで推進案がまとめられているように感じます。確かにデジタル化により利便性が向上するものと一般的には捉えられ、記載されたメリットはパツと見で多くの方が、便利だ、快適だ、楽になる、コスト削減も期待できると考えられる内容です。一方で、大抵の新たな取り組みがそうであるように、良い面のみが大きく取り上げられ、それにより発生する問題点は軽視される傾向があるように思います。世の中の問題点というものは、発生する前に十分に検討しておけば防げたものも多いです。また、往々にして問題の対策を後付けで行うよりも、事前の防止策を整備しておく方がたやすいということもあり得ます。デジタル化という大きな変革に際しては、慎重さを重ねて十二分にリスクの議論、解析を行い、不備のある点は事前に回避策を設ける、または案を練り直す等も必要と考えます。</p>	<p>貴重な御意見をいただき、ありがとうございます。今後の参考にさせていただきます。</p>
30	<p>(技術的なりリスク観点で漏れ抜けと感ずる部分) AIの危険性についてのリスク                      AIは発展途上の技術であり、人の能力を大幅に超えたコンピュータの認識力を制御する方法がまだ確立されていない。                      ChatGPT等は安易に飛びついて採用すべきものではないと考えます。まずはAIがなくとも可能な方策を検討いただきたいと思います。</p>	<p>生成AIには、情報漏洩や情報の信頼性に欠ける等の課題があり、その利用が重大な情報セキュリティインシデントにつながる恐れがあるため、現在、業務で利用はしておりません。一方で、生成AIを巡る技術革新は、さまざまな利点をもたらすことから、今後の業務利用について調査検討を行うため、個人情報を入力制限や会話データが開発元の学習に利用されない等、セキュリティ対策が講じられた生成AIサービスの無料トライアルを実施しました。今後は、無料トライアルの実施結果を踏まえ、国の動向を注視しつつ、県とも情報共有を図りながら、業務利用の可否について、さらなる検討を進めてまいります。</p>

◆八千代市DX推進方針(案)に寄せられたご意見と市の考え方

No.	ご意見の概要	ご意見に関する市の考え方
31	<p>5G/及びそれ以降のGenerationの通信方式についてのリスク                      通信技術において、数十GHzという周波数を強電波で生体(人、動物、植物等も全て)が浴びることへの影響が未知である。                      5G基地等の推進には反対です。通信方式等に後れを取るまいと考えることよりも、中身をしっかりと練ることに力を割くべきです。</p>	<p>貴重な御意見をいただき、ありがとうございます。今後の参考にさせていただきます。</p>
32	<p>マイナンバーカードについてのリスク                      住所氏名年齢職業から資産管理に至るまで、個人情報の全てが紐づけられることへの危険性が周知されていない。                      国の施策としてメリットやポイント付与などやはり利便性ありきで普及を目指していますが、ゴールイメージは国による個人の管理にほかならないと考えられ、一定数の反対派がいることは事実です。限定的な利用や、マイナンバーカードなしでも推進できるデジタル化の工夫が必要です。</p>	<p>貴重な御意見をいただき、ありがとうございます。今後の参考にさせていただきます。</p>
33	<p>通信に関わるリスク                      ネットワークで全てが繋がるということは、逆にネットワークが不通となれば全てが繋がらなくなるため、回避する術がない。                      ことに災害時等、通信手段を複数持つことは防災の常識であり、全てが統一されたオンラインであることはリスクを伴います。少なくとも二重三重の通信防御策が必要と思います。</p>	<p>本市では、主要な情報システムを接続する通信回線につきまして、回線を冗長構成にする等の措置を講じ、有事に備えておりますが、更なる対策につきましても、今後調査研究を行ってまいります。</p>
34	<p>データ保存に関連するリスク                      役所がデータを保存するわけではなく他社のサーバでの管理と考えられるが、国のデジタル体制でも現在は海外サーバを利用と聞き及んでいる。                      日本国民の個人情報が他国のサーバに依存するということは、防衛観点上からも非常に危険と考えます。熟考願いたいと思います。</p>	<p>システム標準化におきまして、現在、ガバメントクラウドとして利用できるクラウドサービスは、海外の事業者のみとなっておりますが、ガバメントクラウドの条件が一部緩和され、今後は国内の事業者によるクラウドサービスもガバメントクラウドに参入する可能性もあることから、このことも視野に入れ、検討を進めてまいります。</p>
35	<p>必ず取り残される人が発生すること                      周囲を見渡し、お年寄り、子供、また様々な考え方のある中で、あらゆる個人がデジタル化についていけるとはとも思えない。                      取り残されない施策が講習会等というのは不足で、結局知らなければ使えないという状態に陥り、必ず取り残される人が発生すると考えます。</p>	<p>基本方針3「人に寄り添うデジタル化」に基づき、誰も取り残さない形で、全ての市民がデジタル化の恩恵を受けられるよう、努めてまいります。</p>

◆八千代市DX推進方針(案)に寄せられたご意見と市の考え方

No.	ご意見の概要	ご意見に関する市の考え方
36	<p>選択の自由が奪われること デジタルは不便という考え方が存在することを理解する必要がある。例えば電子書籍よりも紙の書籍が良いという人は多数存在する。 No.33の通信に関わるリスクにも似ていますが、全てが統一された方法というのは選択肢が奪われることになります。選択肢が奪われることは不平不満の感情にも繋がり、更には人が自由に生きる法上の権利にも干渉してきます。デジタルではない手段も確保し、選択の自由は残していただきたいです。</p>	<p>貴重な御意見をいただき、ありがとうございます。今後の参考にさせていただきます。</p>
37	<p>国の方策も、間違ふことは多々あると思います。 また市町村等の自治体には、地方分権一括法に基づき独自の方針を保つことも一つの選択肢であり、国が推進するから必ずしもそれに則り同じ筋道を推進してゆくことだけが目指す姿ではないと考えます。本当に市民のためであれば、独自のよりよい策を考慮することも行政としての役割であると思います。 例えば、子供たちの給食からオーガニックを推進してゆく自治体、ワクチンに対して慎重さを唱える自治体、子育てに独自工夫を盛り込む自治体等は現実に存在し、それらを魅力と感ずる人々がその市町村に集い地域を活性化していつていることも事実としてあります。 八千代市は、残念ながら現在は国の施策に沿ったままのありふれた市のように見えてしまうのですが、国・政府の施策に納得がいかないことばかりの昨今、独自の魅力ある市に生まれ変わる機会でもあると思います。 一市民として、どのような独自性を持って臨むのか、注視してまいりたいと存じます。</p>	<p>貴重な御意見をいただき、ありがとうございます。今後の参考にさせていただきます。</p>